

原価の低減、共同倉庫の利用による在庫費用の節約、共同展示場の設置による販売促進、共同計算、共同配送、共同広告共同給食による経費の節約など、近代化する必要がある。

また九州縦貫自動車道の開通に伴い、流通基地としての流通センターの造成が必要になってくるのである。この流通センターは九州の第一次集配基地として倉庫団地、トラックターミナル、将来必要とされるコールド・チェーンに対処できるよう冷凍庫、冷蔵庫、低温庫、パレットヤード、コンテナヤードを建設し、そして農畜産物、果樹、特産物、水産物、飲食料品など県内産の市場開拓品および自動車、機械器具、農機具、家庭用電機、医薬品、化粧品などメーカー商品の中南部九州流通基地の性格が望まれるのである。

小売商業店舗の共同化

店舗共同化とは、小売商の店舗を移転、集中し、商業の規模の適正化をはかり、総合化による経営の近代化を促進するものである。協業化が円滑に運営されているところでは、多角化によるワンストップショッピングが可能となり、近隣の購買力を吸収することが可能である。また共同仕入による仕入原価の低減、信力力の増大による資金調達の容易化などのため、販売原価を低くすることができ、厚生施設の完備により従業員の雇用促進などに効果があることができる。

小売商業店舗共同化の例としては、山

の手ストア（荒尾）、宇土ショッピングセンター（宇土）などがある。このほか県下十六ヶ所において共同店舗をつくる計画で現在指導中である。

商店街の近代化をどう進める

商店街においては、寄合百貨店、スーパーマーケットなどの中核店舗を中心として専門店の規模の拡大、駐車場の整備などにより、立体的または平面的な商店街を造成し、専門店が合理的に配置し、共同売出し、共同仕入れ、アーケード駐車場などの共同施設の設置など環境整備を効果的にやり、ワンストップショッピングの商店街を造る必要がある。このような計画としては次のようなものがある。

★熊本市の中心商店街

熊本市の中心商店街は大型店舗（百貨店、スーパー）を配置した文化品、買廻品専門の特色をもつ商店街として、一方娯楽飲食商店を含む面状商店街として高く評価されているが、更に都市再開発計画にあわせた立体的な高層不燃化外装統一の建築を促進し協業化による大型化、専門店化を推進し、安定度の強い本県における近代的な中心商店街を形成して、消費者に満足できる商品を提供し、楽しい買物の場としての振興をはかる必要がある。

★副都心の商店街

新県庁の移転、東部住宅地区の進展に

ルポ

五和町商工会のモットーは、「会員のために商工会」である。その具体的な施策の一つを、金融面にみる。五和町は、五和町商工会が発足する間もなく五和町組合を設立。その後も、低利で長期資金による事業の改善を呼びかけ、商工会の傘下団体として、三十五年に国民金融公庫五和債組、三十六年には商業協同組合、建設業協同組合と次々に設立。資金活用の指導を行なうとともに、商工会が債還事務の窓口となって会員の便を図るなど、体質改善に果たした効果は大きい。

金融の充実と販路の拡張へ

一五和町商工会の活動一

こうした金融面での動きと並んで、販売振興策の一つとして取り組んでいる。食品雑貨の共同仕入れの実績も目覚ましい。これは、地元消費の活性化、ひいては商店の振興を図るべく、県下のトップをきって三十八年に商工会に食品雑貨共同購買部を新設してはじまった。

たもの。この効果は、仕入れ価格が八割程度安くなって、商品の回転率や鮮度率も上昇。地元消費の増加にもつながって、売上高も約二割の増。ひいては各商店の企業意欲の向上をもたらしている。五和町は、五和町商工会の合併で誕生したのだけに、商店街も大きく三地区にわかれ、商工会での指導、その他に困難な事情が大きい。しかし、こういった障害をのりこえた商工会のキメ細かな各種の施策は、今では、完全に会員の中に浸透しているようだ。この間、発足以来指導に当たってきた、経営指導員の福田さんが三十八年に優良指導員として、また四十年には、商工会が優良商工会として、全国表彰を受けた。商工会活動の基盤となる商工会館も、昨年の七月に落成。この十一月には、新しい町づくりを主眼に、若い人たちの活動を盛んにして、商工業の振興を図ろうと青年部が発足するなど、商工会の活動はますます盛んである。

の発するにふさわしい駅前商店街として開玄関口必要がある。

★熊本市周辺の商店街

熊本市周辺の健康、京塚、子飼、清水川尻などは各地域の核としての性格付けをし、近隣の住宅街を対象とする最寄品中心の地区商業センターとし、都市計画にそって開発をはかり、日常の買物がしやすく、楽しい商業センターづくりを促進して経営の向上と安定ある商店街の振興をはかる必要がある。

★衛星都市の商業振興

消費者の日常の買物がしやすく、便利であり、商店も経営向上と安定度ある商

業として既存小売商業の大型化育成を促進する。

そのため、小売商業店舗共同化によるショッピングセンターの育成をはかって、衛星都市の中核として推進するとともに連鎖店化をはかって経営向上と生産性の向上をはかる必要がある。

小売商業の連鎖化

（ボランタリー・チェーン化）

ボランタリー・チェーンとは、小売商業店舗共同化においては、小売商の店舗を移転、集中しなければならぬので、小売商の人たちが、店舗共同化にはなかなか踏み切る決心がつかないのではないかとと思われる。そこで現在の店舗をそのままに独立性を保ちながら規模の利益を追求するものである。それではボランタリー・チェーンとは

提言

現在、県下の中小商業者は大型スーパーあるいは農協スーパーなどの攻勢に悩まされているものと思われる。しかし、これは時代の流れが生んだ一つの要請であり、これらに対抗するには自らの体質改善以外にはないわけである。

すなわち当局が指導する共同化を図り、あるいは市内にいくつかある商店振興会が団結して商店

前向きの姿勢で進もう

菊川 福蔵

（協同組合荒尾名店会専務理事）



街の近代化を推進し、お客に魅力と親しみやすさを感じさせる商店街の実現のために、和合と協力により邁進する。特に荒尾市の場合は大牟田と隣接し、しかも、大牟田側には大きなスーパーが三つも

年を一〇〇とすれば、四十年は一九五・

八とその値上りは特にいちじるしい。生鮮食料品の価格の抑制による消費者物価の安定のためには、関係事業者の経営向上をはかり、生鮮食料品の流通の近代化をはかる必要がある。

このため、国においても、生鮮食料品の近代化策として、生産・流通・消費面において強化な施策を打ち出している。

すなわち、生産面では生鮮食料品の生産原価を低くして需給のバランスのとれた生産を行ない、価格の安定をはかること。また流通面での経費の低下をはかること、消費者に合理的な購買習慣の育成をはかるなどが主な施策である。

① 生産面

計画された消費量に応じた生産を実施する必要がある。（需給のバランス調整）

（イ）野菜指定産地制度

（ロ）野菜生産安定事業の拡充

（ハ）青果物の出荷調整

② 流通経路

（イ）物の経費の節減

☆包装、処理、加工貯蔵を合理的に行ない、流通途中における腐敗損品の発生を防ぎ、輸送経費の節約をはかる。

。冷凍魚の消費普及

。包装輸送の合理化

。コールド・チェーンの促進

☆等級、規格などの検査体制、情報システムの充実をはかる。

。肉、鶏肉、牛乳、乳製品、魚、野菜

果物の等級、規格の作成

。中央卸売市場と生産地、中央卸売市場、中継地と生産地を結ぶテレックスの情報通信

（ロ）商品の経費の節減

大規模出荷、共同買付、共同仕入をや、各段階での業者の大型化をはかり、経費の節約をはかる。

。牛乳共同保管

。食肉共同処理施設

。食肉処理販売会社の増設

。卸売人の大型化

。仲買人の大型化

。生鮮食料品総合小売場設置

。標準品小売店の強化拡充

③ 消費者生活の向上

（イ）消費生活における計画性

（ロ）消費者の一括購入

（ハ）感じや見栄、情性でものを買いこと

なく、合理的な購買習慣、商品知識の向上。

物的流通の近代化

荷役、輸送、保管、包装などのいわゆる物的流通部門は手作業に依存するところが大きく、機械化が遅れている面がある。

このため最終商品価格に占めるこれらの物的流通コストは大体一五％前後もあり、これをどのようにして引き下げるかということが問題であり、とりわけ労働